

第72回 長崎県軟式野球選手権大会

会期 令和4年10月22日、23日
11月5日(三日間)
会場 諫早市第1野球場
諫早市第2野球場
諫早高校第2グラウンド



主催 長崎県軟式野球連盟
株式会社 長崎新聞社
主管 諫早市軟式野球連盟
協賛 ダイワマルエス株式会社



大会ホームページ

大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール



長崎県軟式野球連盟HP
大会結果はこちらから

大会役員

大会名誉会長	徳 永 英 彦	(長崎新聞社代表取締役社長)
大会会長	八 江 利 春	(長崎県軟式野球連盟 会長) [諫 早]
大会副会長	津 田 祐 一	(// 副会長) [上五島]
	太 田 秀 穂	(// 副会長) [東彼杵]
	福 島 孝 俊	(// 副会長) [長 崎]
	山 口 隆 一 郎	(諫早市軟式野球連盟 副会長)
	田 村 秀 文	(// 副会長)
大会委員長	森 永 玲	(長崎新聞社取締役メディアビジネス局長)
大会副委員長	森 田 昭 弘	(長崎県軟式野球連盟 理事長) [県 北]
	本 田 勇 二	(長崎新聞社メディアビジネス局事業部長)
総務委員長	丸 山 隆 幸	(長崎県軟式野球連盟 副理事長) [長 崎]
総務副委員長	吉 本 行 範	(諫早市軟式野球連盟 理事長)
大会委員	沼 田 浩 三	[長 崎] 近 藤 幸 男 [佐世保]
	中 村 正 之	[大 村] 兼 元 善 啓 [島 原]
	田 尻 政 樹	[平 戸] 松 本 強 [松 浦]
	針 崎 善 英	[福 江] 森 彰 夫 [東彼杵]
	宮 口 明	[西 海] 大 島 稔 一 [県 南]
	北 村 英 彦	[県 北] 江 口 旭 [上五島]
	白 川 透	[杓 岐] 原 田 武 茂 [対 馬]
	山 下 英 一 郎	[審判部] 田 中 康 隆 [審判部]
	藤 山 隆 一 郎	[審判部] 近 藤 省 二 [中体連]
	吉 野 徹	[広 報] 堀 田 夕 力 子 [女子部]
	千 住 良 治	[諫 早] 【以上・県連盟理事】

競技会役員

競技委員長	吉本行範	(諫早市軟式野球連盟 理事長)
競技副委員長	内田良浩	(事務局長)
総務委員	林田敏隆・伊東章義・森田孝徳	
	山口 悟・久保丞治・上野和成	
放送委員	西川美紀恵・後田悠希・米盛里紗	
審判委員長	鮎川 博	(諫早市軟式野球連盟 審判部長)
審判副委員長	山下英一郎	(長崎県軟式野球連盟 審判部長) [長崎]
審判長	折元郁朗	(諫早市軟式野球連盟 審判長)
副審判長	田中康隆	(長崎県軟式野球連盟 審判長) [諫早]
	藤山隆一郎	(長崎県軟式野球連盟審判部 事務局長) [諫早]
派遣審判委員	土屋良成 [長崎] ・ 森川信也 [長崎]	
(九連審判技術指導員)	天野浩州 [佐世保] ・ 川本翔吾 [佐世保]	
	宮崎浩二 [県南] ・ 川崎 仁 [対馬]	
(県連各支部派遣)	木下研一 [長崎] ・ 沼田浩三 [長崎]	
	小柳伊佐義 [大村] ・ 法村俊弥 [大村]	
	島田欣也 [島原] ・ 本多光平 [県南]	
	中島昭仁 [東彼] ・ 樋口貴彦 [福江]	
	佐々木康博 [上五島] ・ 中村龍ノ介 [壱岐]	
	原田武茂 [対馬] ・	
審判委員	内山克則・斉藤幸信・小峰利弘	
(諫早支部所属)	森田孝徳・千住良治・原田芳春	
	横田順治・河村徳明・山口庸介	
	矢竹 清・下釜英智・原口雄大	
	山口 歳明	

第72回 長崎県軟式野球選手権大会 実施要項

1. 主 催 長崎県軟式野球連盟 株式会社 長崎新聞社
2. 主 管 長崎県軟式野球連盟諫早支部（諫早市軟式野球連盟）
3. 協 賛 ダイワマルエス株式会社
4. 会 期 令和4年10月22日(土)、23日(日)、11月5日(土) 三日間
5. 会 場 A：諫早市第1野球場 B：諫早市第2野球場 C：諫早高校第2グラウンド
6. 参 加 資 格 長崎県軟式野球連盟に登録しており、各支部予選を勝ち抜き、支部長が推薦するチームであること。
7. 参加チーム 県内A級(推薦) 2チーム+各支部代表 15 チーム 計 17 チーム
8. チーム編成 監督・選手10名以上20名以内で構成し、スポーツ安全保険等に加入していること。
9. 適用規則 2022年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目及び別に定める特別規則を適用する。
10. 大会規律 不正出場、その他規律違反については(公財)全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
11. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 ダイワマルエスM号を使用する。
12. 参加申込 A級チーム及び各支部代表チームは、所定の参加申込書(エクセルシート)に必要事項を正確に記入し、所属支部を經由して令和4年10月10日(月)までに下記アドレスへE-Mailで提出すること。 E-Mail yuki4410@sun.icv-net.ne.jp
 - ・選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。
 - ・参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
13. 組み合わせ 参加申込書提出期限の翌日(10/11)に主管支部役員及び県連役員立会いで代理抽選を行う。
14. 参加料 25,000円 大会第一日目の会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
15. 監督会議 行わない。
16. 開(閉)会式 開会式は行わない。閉会式は大会最終日の決勝戦終了後に表彰式と兼ねて行う。
17. 旅費宿泊費 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、すべてチーム負担とする。
18. そ の 他 ◆ベンチに入れるのは選手・監督のほか責任者・マネージャー・スコアラー各1名。
◆主催者・管理者は試合中の負傷、疾病に対し、応急手当のほかは責任を負わない。
19. 連 絡 先 諫早市軟式野球連盟理事長 吉本 行範 090-4354-9403
諫早市軟式野球連盟事務局長 内田 良浩 090-5939-6810

【試合方法】

- ①準決勝戦までは7回ゲームとし決勝戦は9回ゲームとする。
決勝戦で天候や時間に制限がある場合は、7回戦とすることもある。
- ③準々決勝戦までは試合開始から1時間30分を越えて新しいイニングに入らない。
同点の場合は、タイブレーク制(無死一二塁・継続打順)で決着をつける。
時間の区切りは1時間30分に到達した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行う
後攻チームが勝っている場合は、その攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切る。
- ④決勝戦は2回を限度に通常の延長戦を行い、勝負が決しない場合は次回よりタイブレーク制とする。
- ⑤コールドゲームは準決勝までは5回以降7点差、決勝戦は7回以降7点差とする。
- ⑥5回(決勝戦は7回)を完了して、降雨、日没等で試合が継続できない場合は、コールドゲームとする。
未完了の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。
- ⑦雨天の場合でも試合を行うことや、午後から行うこともあるので大会本部に連絡をとること。
- ⑧悪天候のため試合日を延期する場合、日時・会場は県連と主管支部が協議のうえ決定する。チームの意向によって設定することはないので設定された日時と会場でできないチームは棄権とする。

新型コロナウイルス感染拡大に関する取り組み事項

大会開催に際し、感染拡大防止のために、参加者におかれましては、下記の事項を順守していただきますよう協力をお願いいたします。

1. 選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際は、必ずマスクを着用すること。
2. オーダー交換時にも、審判員及び選手は、マスクを着用すること。
3. 試合前、試合後の整列に際し、握手は行わず、大声での挨拶はしない。
4. 試合中、ハイタッチ、握手、大声を出すなどは行わず、各々、コミュニケーション方法を模索すること。
5. 球場(会場)内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
6. 手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
7. 応援団及びベンチ内においても、一定間隔を置いて、密接を避けること。

◆大会参加選手、関係者、応援者においては、当面下記のとおりとする。

1. 過去14日以内に入国制限を受けている国、地域からの旅行帰りまたは濃厚接触がある場合は参加、来場を控える。
2. 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、諫早市軟式野球連盟に
対し、速やかに報告すること。

第72回 長崎県軟式野球選手権大会 出場チーム

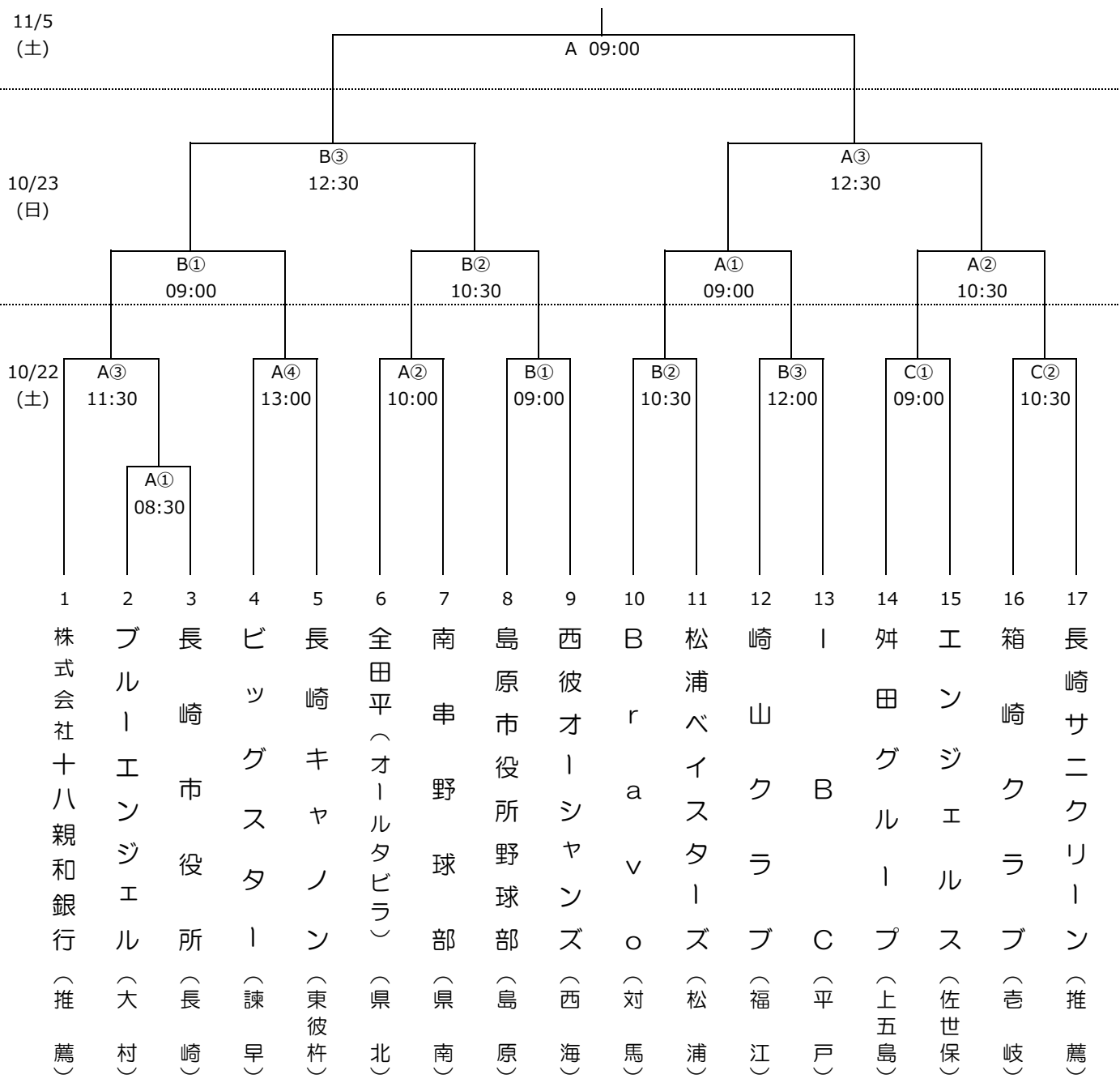
支部名	支部代表チーム (推薦チームはA級登録)	令和4年度 支部内一般登録チーム
長崎	長崎市役所(B級)	B級 = 九電グループ長崎、西部ガス長崎、長崎市役所 長崎三菱自動車販売(株)、bee Bee C級 = 長崎県庁野球部、パンサー、十八親和長崎クラブ、長工クラブ J A全農ながさき、ユニバース、もろおか薬局、長崎市上下水道局 長崎ヤンキース、長崎純心大学野球部、卍會 長崎市役所OB、坂本小スーパースターズ、99'ers、コーカスクラブ
佐世保	株式会社十八親和銀行(推薦) エンジェルス(B級)	B級 = ソリッドフェロー、西海クラブ、佐世保市水道局 ケンズ、佐世保市役所野球部、エンジェルス C級 = 佐世保市消防局、西部ガス佐世保、ONE PIECE、長崎県立大学 佐世保市水道局壮年、佐世保西海クラブ
諫早	ビッグスター(C級)	B級 = たちばな信用金庫、轟クラブ、森山クラブ、TAKE OFF C級 = 諫早市役所、ビッグスター、九州フジパン長崎工場、飯盛クラブ AZAN、ヨシスポーツ、千住スポーツ壮年
大村	ブルーエンジェル(B級)	B級 = 大村市役所野球部、中村クラブ、TEAM橋口、ブルーエンジェル C級 = ALL OUT、大村市役所壮年クラブ 中村クラブ壮年、TEAM橋口・S、ブルーエンジェル壮年
島原	島原市役所野球部(C級)	C級 = 島原市役所野球部、有明クラブ、島原トータス Beams、テクノブレイク
平戸	IBC(B級)	B級 = IBC、西龍クラブ C級 = 平戸クラブ、FLY FISH
松浦	松浦ベイスターズ(B級)	B級 = 松浦ベイスターズ C級 = 松浦まーくんず、松浦市役所、松浦ST
福江	崎山クラブ(B級)	B級 = 福江球友会、福江クラブ、福江ドリームスター 三井楽クラブ、崎山クラブ C級 = 富江クラブ、五島市役所野球部、FDH
東彼杵	長崎サニクリーン(推薦) 長崎キャノン(C級)	B級 = 彼杵スラッガーズ C級 = 長崎キャノン、波佐見フェニックス、東彼杵オールスターズ
西海	西彼オーシャンズ(B級)	B級 = 西彼オーシャンズ C級 = (株)大島造船所
県南	南串野球部(C級)	C級 = 国見瑞穂クラブ、くらぶ あづま、南串野球部、Little Beach CUBZ 千々石野球クラブ、加津佐タイガース、みなんまクラブ、インスパイア
県北	全田平(B級)	B級 = ナインズ、鹿町バンビーズ、全田平 C級 = オール江迎、小値賀マスターズ、グランドスラム、県北ロイヤルズ
上五島	舩田グループ(B級)	B級 = 舩田グループ、上五島ブローズ、上五島クラブ、若松クラブ C級 = クラブZOO、FFH、奈良尾クラブ、上五島ワイズ、上五島迷球会
壱岐	箱崎クラブ(C級)	C級 = 勝本北星、箱崎クラブ、東海クラブ、石田ジャガース
対馬	Bravo(B級)	B級 = 厳原マリナーズ、Bravo、制覇クラブ C級 = 対馬ビルズ、美津島ニューベアーズ、対馬・J、豊玉町野球部 ドンジャース、球王クラブ、上対馬北斗クラブ、対馬TM

令和4年度長崎県軟式野球連盟一般登録チーム数 A級=2 B級=39 C級=79 合計=120

第 72 回 長 崎 県 軟 式 野 球 選 手 権 大 会

会 期 令和4年10月22日(土)、23日(日)、11月5日(土) 【三日間開催】

会 場 A:諫早市第1野球場 B:諫早市第2野球場 C:諫早高校第2グラウンド



【決勝戦】

開始 : 終了 : 所要 時間 分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計

【審判】 (球審) (一塁) (二塁) (三塁)

1	佐世保支部 A級		株式会社 十八親和銀行		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	外野手	北田 亮佑	34	
2	10	内野手	山口 優大	28	
3	1	外野手	鹿田 海斗	27	
4	4	捕手	小川 優介	26	
5	6	内野手	辻 義大	24	
6	7	内野手	澤田 幸輝	23	
7	9	内野手	高井 航平	30	
8	12	外野手	西郷 龍太郎	33	
9	13	投手	栗山 和高	31	
10	16	投手	森内 麟太郎	26	
11	19	投手	鳥越 大地	27	
12	22	捕手	高坂 幸靖	31	
13	24	内野手	大竹 紘人	28	
14	25	外野手	磯 祐一郎	32	
15	27	外野手	貫 亮介	27	
16					
17					
18					
19					
20					

2	大村支部 B級		ブルーエンジェル		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	投手	松添 洋介	35	
2	10	内野手	岡山 雅之	25	
3	0	外野手	矢口 修史	26	
4	1	内野手	中里 晃基	28	
5	2	内野手	玉木 克英	51	
6	3	内野手	山本 和則	36	
7	5	内野手	寺井 拓海	25	
8	6	内野手	奥田 颯	23	
9	8	外野手	辻 剛史	22	
10	16	投手	宮崎 拓哉	26	
11	17	内野手	吉武 雄太	32	
12	21	投手	川口 純平	23	
13	22	捕手	酒井 雄飛	29	
14	25	外野手	鹿取 哲郎	26	
15	26	投手	播本 颯貴	23	
16	27	投手	渡邊 伸太郎	27	
17	28	外野手	平田 諒馬	27	
18	77	投手	堀江 虎次朗	23	
19					
20					

3	長崎支部 B級		長崎市役所		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	浦 貴士	41	
2	10	内野手	池田 龍太郎	28	
3	1	内野手	前田 恵未也	30	
4	2	捕手	児玉 健太郎	24	
5	3	内野手	木下 誉貴	23	
6	4	内野手	宮崎 宗人	47	
7	5	外野手	熊谷 佑希	28	
8	6	捕手	近重 策郁	29	
9	7	内野手	浦上 拓哉	29	
10	9	内野手	瀬戸口 幸希	27	
11	11	投手	浦 亮介	33	
12	12	外野手	森 紀章	32	
13	16	投手	田前 隼人	19	
14	17	内野手	木下 史修	30	
15	19	内野手	佐々木 啓輔	27	
16	23	投手	中村 友則	44	
17	24	内野手	今村 真基	29	
18	25	外野手	長 孟志	32	
19	26	外野手	山川 良太	24	
20	27	外野手	出口 亮佑	28	

4	諫早支部 C級		ビッグスター		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	中尾 晶史	45	
2	10	外野手	田川 和輝	37	
3	0	投手	山口 将文	33	
4	3	内野手	陣野 博幸	35	
5	4	内野手	馬場 裕昭	37	
6	5	内野手	山口 誠一郎	37	
7	8	内野手	松山 優哉	38	
8	11	捕手	井上 大志	38	
9	12	内野手	三ヶ崎 将吾	37	
10	17	投手	平子 陽大	23	
11	18	投手	田中 圭一郎	37	
12	23	捕手	石丸 啓太	35	
13	25	外野手	野田 讓	36	
14	33	内野手	酒井 貴大	37	
15	35	外野手	笹田 圭佑	35	
16	41	外野手	野崎 貴博	37	
17	46	内野手	中野 海斗	26	
18	58	外野手	山口 誠也	30	
19	77	外野手	田島 海人	24	
20	99	投手	田川 昇	35	

5	東彼杵支部 C級		長崎キャノン		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	副島 卓司	38	
2	10	内野手	前田 勇健	31	
3	1	投手	水田 裕一朗	33	
4	2	捕手	野口 太誠	22	
5	3	内野手	酒井 兼二郎	23	
6	4	内野手	池田 太志	24	
7	11	投手	尾野 令典	22	
8	13	内野手	松浦 洋貴	31	
9	14	外野手	廣瀬 哲也	28	
10	15	外野手	高橋 謹聡	26	
11	16	外野手	藤永 駿	31	
12	17	投手	白仁田 航	30	
13	19	外野手	坂口 誠	30	
14	20	外野手	桑原 太陽	22	
15	21	外野手	山口 稜平	26	
16	23	内野手	庄崎 健太	37	
17	24	外野手	岩崎 征一郎	34	
18	25	外野手	松尾 裕太	31	
19	26	外野手	福井 嶺太	20	
20	28	外野手	坂井 翔	29	

6	県北支部 B級		全田平(オールタピラ)		
No.	背番号	位置	氏名	年齢	
1	30	内野手	北島 孝郎	44	
2	10	外野手	山口 拓也	30	
3	0	投手	長崎 秀将	32	
4	1	投手	山口 祐毅	32	
5	3	内野手	志水 伸幸	32	
6	4	内野手	山内 裕生	28	
7	5	内野手	東川 茂宏	50	
8	6	内野手	井川 雄基	30	
9	7	内野手	松永 大輔	28	
10	8	外野手	大野 遥葵	19	
11	9	捕手	阿比留 博明	31	
12	11	投手	山内 貴矢	29	
13	17	外野手	田口 楓	19	
14	18	投手	高木 一喜	27	
15	25	外野手	矢羽田 裕樹	35	
16	27	外野手	黒木 悠吾	18	
17	41	投手	赤木 永生	21	
18	51	投手	松瀬 丈一郎	23	
19	55	外野手	新立 奨吾	19	
20	98	捕手	立木 雄輝	22	

7	県南支部 C級		南串野球部		
	No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	投手	川内 恵輔	30	
2	10	外野手	増田 憲伸	22	
3	1	内野手	本村 拓郎	26	
4	2	捕手	三宅 優誠	23	
5	3	投手	酒井 勇河	21	
6	4	内野手	本村 壘	22	
7	5	内野手	中島 和樹	23	
8	6	内野手	松尾 信宏	22	
9	7	内野手	松尾 龍吾	22	
10	8	外野手	渡部 開	24	
11	9	外野手	山本 真裕	21	
12	11	外野手	平野 也実	23	
13	12	外野手	大村 恭生	20	
14	13	内野手	末吉 亮介	21	
15					
16					
17					
18					
19					
20					

8	島原支部 C級		島原市役所野球部		
	No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	内野手	村田 健太郎	39	
2	10	内野手	西川 史洋	34	
3	1	捕手	小川 恒生	34	
4	7	外野手	石本 智啓	34	
5	8	外野手	内田 魁人	27	
6	9	内野手	中田 聖弥	19	
7	14	内野手	中鶴 真一	38	
8	17	内野手	吉田 史郎	54	
9	19	内野手	吉田 修三	52	
10	20	外野手	馬渡 孝治	46	
11	21	外野手	本多 圭介	38	
12	23	外野手	杉野 喜代志	56	
13	24	外野手	本田 康貴	26	
14	26	内野手	江島 大貴	20	
15	28	内野手	野田 叡司	26	
16					
17					
18					
19					
20					

9	西海支部 B級		西彼オーシャンズ		
	No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	内野手	田中 義光	53	
2	10	投手	廣瀬 龍輝	22	
3	0	投手	鰐口 琳太	23	
4	1	内野手	宗 勝士	24	
5	6	内野手	林田 匠	20	
6	11	捕手	山崎 洸希	20	
7	17	投手	早嶋 大地	26	
8	21	外野手	宮原 大輔	30	
9	23	外野手	田崎 佑	20	
10	25	内野手	相川 友哉	22	
11	26	外野手	尾野 令典	22	
12	48	外野手	森山 将伍	28	
13	49	内野手	宮原 崇輔	24	
14	51	外野手	堀口 葵	24	
15	69	投手	坂本 大東	21	
16	77	内野手	岩内 侑大	21	
17	85	外野手	山下 勇真	30	
18	88	捕手	小嶋 羽未	27	
19	89	内野手	山口 陸太	22	
20	99	内野手	山崎 甲斐登	22	

10	対馬支部 B級		Bravo		
	No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	内野手	小宮 博輝	36	
2	10	外野手	多田 康佑	29	
3	0	投手	黒川 和輝	18	
4	2	内野手	阿比留 祐一	42	
5	3	投手	吉富 源	26	
6	4	内野手	多田 智樹	51	
7	5	内野手	藤田 海人	18	
8	7	外野手	阿比留 紀貴	36	
9	8	捕手	江口 貴博	27	
10	9	捕手	麻生 高利	34	
11	14	外野手	濱口 凌太	24	
12	18	投手	延塚 敬志	19	
13	19	投手	中屋 隆太	36	
14	24	投手	貞包 桜介	20	
15	25	内野手	井 聡裕	36	
16	27	内野手	山口 真吾	23	
17	29	捕手	諫山 祐也	35	
18	36	外野手	中島 拓基	27	
19	37	内野手	小田 剣生	42	
20	99	捕手	山代 毅	41	

11	松浦支部 B級		松浦ベイスターズ		
	No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	外野手	富野 寿朗	46	
2	10	内野手	森田 将	33	
3	1	投手	福田 準也	30	
4	2	捕手	吉田 裕次朗	20	
5	4	内野手	富森 匠	20	
6	5	外野手	福永 勝仁	40	
7	6	外野手	池田 一哉	32	
8	7	内野手	荒木 悠史	29	
9	8	外野手	宮田 慎太郎	25	
10	9	内野手	大坪 靖人	29	
11	11	外野手	土谷 和也	30	
12	20	投手	池田 昌太郎	37	
13	21	投手	吉浦 彰二	47	
14	22	外野手	立石 滉太	29	
15	23	内野手	永田 健也	24	
16	27	内野手	森 強	41	
17	29	内野手	今村 修	46	
18	47	外野手	横田 拓也	27	
19	51	捕手	紙本 大將	34	
20	55	内野手	崎田 幸亮	28	

12	福江支部 B級		崎山クラブ		
	No.	背番号	位置	氏名	年齢
1	30	外野手	長谷川 英樹	51	
2	1	投手	山中 秀斗	21	
3	3	投手	松本 博治	27	
4	5	内野手	里中 慧大	28	
5	7	外野手	伊東 瑞樹	25	
6	11	捕手	ウエルシュクリストファー	28	
7	12	外野手	長谷川 陸	21	
8	14	内野手	山中 善臣	48	
9	15	内野手	荒木 善一	46	
10	16	外野手	今村 逸人	31	
11	17	捕手	増田 岳	26	
12	19	内野手	橋本 豊昭	48	
13	23	外野手	入江 郁也	26	
14	24	外野手	道脇 健太郎	19	
15	25	内野手	里道 裕輝	27	
16	26	内野手	境目 壮大	24	
17	27	捕手	有吉 海翔	20	
18	28	外野手	木下 茂利	41	
19	29	投手	針崎 善英	58	
20					

13	平戸支部 B級		I B C	
	No.	背番号	位置	氏名
1	30	内野手	近藤 暁	40
2	10	内野手	大宅 慶輝	24
3	0	内野手	中川 拓海	24
4	1	外野手	元吉 竜一	34
5	2	内野手	田中 克明	24
6	4	内野手	栗林 拓	24
7	5	内野手	山本 拓実	25
8	6	内野手	中野 奨公	24
9	7	外野手	小倉 雄大	29
10	14	投手	大瀬良 優人	24
11	17	外野手	亀屋 栄充	40
12	22	内野手	山本 航希	24
13	33	内野手	山本 敬蔵	35
14	34	外野手	藤本 洋嗣	24
15	41	投手	田淵 主萌	24
16	51	投手	田中 康一	44
17	52	内野手	山本 誉	24
18	66	内野手	内川 元気	24
19	77	外野手	山浦 高志	41
20	99	捕手	豊村 真也	24

14	上五島支部 B級		舩田グループ	
	No.	背番号	位置	氏名
1	30	内野手	濱崎 秀明	54
2	10	捕手	田本 慎太郎	36
3	1	内野手	土岐 達也	27
4	4	内野手	中口 耕太	28
5	5	内野手	宗 健太郎	36
6	6	内野手	江口 旭	42
7	7	外野手	石田 考二	40
8	8	内野手	湯川 慶祐	45
9	9	外野手	松田 大輔	35
10	11	内野手	蔭山 奈央	22
11	12	内野手	桐林 秀匡	34
12	14	内野手	神園 洋一	44
13	16	内野手	木下 寛輝	40
14	17	内野手	中村 将大	33
15	18	投手	吉田 司	34
16	19	外野手	土岐 龍平	30
17	20	外野手	平本 絢也	26
18	21	投手	湯川 紀之	38
19	22	内野手	大水 翔	38
20	26	外野手	村田 勝宏	31

15	佐世保支部 B級		エンジェルス	
	No.	背番号	位置	氏名
1	30		近藤 幸男	60
2	10	内野手	松永利 雄	43
3	1	内野手	内橋 亮太	40
4	2	内野手	大野 奨人	28
5	3	外野手	南田 歩夢	27
6	5	外野手	徳永 竜也	29
7	6	内野手	永野 大樹	30
8	8	外野手	川下 仁史	26
9	9	内野手	畠 慎太郎	38
10	12	内野手	井手口 仁阿	19
11	14	投手	久保 智明	35
12	17	外野手	益本 怜	26
13	19	投手	野中 俊暢	48
14	20	内野手	前川 孝則	34
15	21	内野手	川端 俊星	27
16	22	内野手	大野 晴彦	58
17	24	投手	大野 祐馬	25
18	25	捕手	長野 裕貴	30
19	27	捕手	荒川 壮也	27
20	29	捕手	古瀬 浩一	57

16	壱岐支部 C級		箱崎クラブ	
	No.	背番号	位置	氏名
1	30	内野手	丸尾 崇仁	36
2	10	内野手	立石 昇平	26
3	1	内野手	竹藤 拓哉	20
4	5	内野手	富田 直登	35
5	7	外野手	岡部 友亮	20
6	9	投手	神保 大稀	21
7	11	投手	平田 和輝	25
8	13	内野手	山本 俊育	25
9	17	投手	田山 久倫	30
10	18	内野手	濱崎 瞬	23
11	19	外野手	門永 篤志	38
12	21	内野手	田山 和樹	35
13	24	内野手	富田 隆博	32
14	25	内野手	川井 浩平	28
15	27	内野手	川添 颯馬	23
16	28	内野手	丸尾 一樹	43
17	29	捕手	土谷 大輔	35
18	41	投手	末永 淳	25
19	77	外野手	小島 龍太	24
20	88	内野手	富田 健太	35

17	推薦 A級		長崎サニクリーン	
	No.	背番号	位置	氏名
1	30	外野手	佐々田 伸弘	34
2	10	外野手	野口 昇馬	26
3	1	内野手	小嶋 大智	31
4	2	内野手	富永康 介	26
5	6	内野手	西 将正	26
6	7	内野手	新屋 太希	23
7	9	外野手	馬場 健一朗	26
8	14	投手	石井 春汰	18
9	16	捕手	浅川 椋太	23
10	20	投手	吉田 貴浩	27
11	22	捕手	奥田 楓	26
12	23	内野手	里山 達也	34
13	24	外野手	草野 青空	27
14	27	内野手	久保田 優希	30
15				
16				
17				
18				
19				
20				

第72回 長崎県軟式野球選手権大会 各支部代表チーム		
No.	支部名	チーム名
1	推薦	株式会社 十八親和銀行
2	推薦	長崎サニクリーン
3	長崎	長崎市役所
4	佐世保	エンジェルス
5	諫早	ビッグスター
6	大村	ブルーエンジェル
7	島原	島原市役所野球部
8	平戸	I B C
9	松浦	松浦ベイスターズ
10	福江	崎山クラブ
11	東彼杵	長崎キャン
12	西海	西彼オーシャンズ
13	県南	南串野球部
14	県北	全田平(オールタピラ)
15	上五島	舩田グループ
16	壱岐	箱崎クラブ
17	対馬	Bravo

【一回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 A①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 A②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 A③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 A④	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 B①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 B②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 B③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/16 C①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【二回戦】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/22 C②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【準々決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/23 A①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【準々決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/23 A②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【準々決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/23 B①	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【準々決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/23 B②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計

審判	球
	一
	二
	三

【準決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/23 A③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計

【審判】 (球審) (一塁) (二塁) (三塁)

【準決勝】 開始 : 終了 : 所要 時間 分

10/23 B③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計

【審判】 (球審) (一塁) (二塁) (三塁)

長崎県軟式野球大会 小史

原爆が投下されてから6年目。浦上周辺も復興が進んだ昭和26年5月に、長崎市営野球場(通称・大橋球場)が完成。野球関係者が待ちに待った両翼90m、中堅115mは当時としては画期的な野球場である。

その竣工を機に長崎日日新聞社(現長崎新聞社)と長崎県軟式野球連盟の共催で県下郡市対抗軟式野球大会(現・長崎県軟式野球選手権大会)が9月に開催され五島や壱岐・対馬の離島3チームを含めた県下10郡市代表チームが集って県軟式野球の覇権を争う記念すべき大会が始まった。



昭和26年9月30日付けの長崎日日新聞紙面より

第3回(28年)大会から第15回(40年)大会までの13年間は準硬式球を使用し、10郡市代表で始まった大会も比較的本土に近い五島や壱岐は良かったが、対馬からの不参加が目立った。第12回(37年)大会は10地区(長崎、佐世保、諫早・北高、大村・東彼、島原・南高、西彼、北松、五島、壱岐、対馬)に推薦(前年優勝)の11チーム参加で行なわれたが、第13回～第15回の3年間は前年優勝+7チーム参加と制限されて開催された。

それも準硬式球ブームの下火に伴い第16回(41年)大会から軟式球に戻し、長崎国体(44年)翌年の第20回大会には10地区代表が参加。上五島単独(49年)や平戸・松浦・北松の分離(51年)。諫早・北高に大村・東彼の分離(54年)、島原・南高の分離(57年)等を経て16支部+推薦チーム参加の大会となったが、平成の市町村大合併で平成17年に北高来郡が消滅し15支部となった。

会場は大橋球場をメインに三菱球場や長崎商高球場を使用していたが、大橋が老朽化で平成7年解体されると翌年は神ノ島仮設野球場と三菱球場。平成9年からは、夏に竣工した県営野球場ビッグNスタ

ジアムや、10年完成の市営かきどまり野球場の2会場を使用。近年は3会場使用して日程的にも余裕を持つての熱戦が展開されている。

第1回大会から70回の歴史の中での偉業は大会6連覇したのが2チーム。軟式が復活した翌年の昭和42年～47年の三菱重工長崎。親和銀行は平成元年から6年まで6連覇したがソニー長崎に7連覇を阻まれた。また平成21年から26年までも6連覇達成し、第65回大会において7連覇に挑んだが二回戦でTEAM橋口から阻まれ大偉業は成らず。

準硬式球使用時代の13年間では、9年目の昭和36年から最後の40年までに日本冷熱工業が5連覇しているが、軟式球に戻った翌41年からは大会に参加をしていない。

また第10回大会までに目立ったのが、炭鉱チームの活躍で第1回と第2回を連覇したのが日鉄御橋炭鉱(北松=吉井)。準硬式大会でも第3回で準優勝の住友潜龍炭鉱(北松=江迎)が第4回と第5回大会を連覇。第7回大会は紋珠岳炭鉱(佐世保)が初出場初優勝。翌年の準優勝は端島炭鉱(西彼)といった具合に炭鉱チームの活躍が際立っていた。

だが日本の近代化を支えていた石炭需要も陰りを見せ始めた30年代半ばから石炭不況に見まわられて昭和40(1965)年に日鉄御橋。42年には潜龍の県北地区で隆盛を誇った二つの炭鉱が相次いで閉山し、炭鉱(ヤマ)の火も消えた。

軟式が復活した昭和41年以降の大会の優勝チームは長崎市や佐世保市からのチームが殆んどだったのが、昭和53年第28回大会では4年前の昭和49年に福江南松地区から単独となった上五島代表の『奈良尾クラブ』が優勝したのも特筆もので、近年では同地区の舩田グループが二度の決勝戦進出を果たしている。

平成22年の第60回記念大会では最大の23チームが参加し、第67回大会からは推薦のA級チーム+15支部代表の参加となり、名実共に『県選手権』大会となっている。



平成22年 第60回記念大会の開会式風景(23チームが参加)

長崎県軟式野球選手権大会 歴代の優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア ①

回	年	参加数	優勝チーム [回数]	決勝戦	準優勝チーム[回数]	大会のトピックス
1	26	10	日鉄御橋炭鋳(北松)	4-2	長崎刑務所(諫早)	二回戦の島原 - 大村戦は延長14回降雨引き分け翌日再試合
2	27	10	日鉄御橋炭鋳 2	4-2	下川商事(佐世保)	二回戦の諫早 - 大村東彼戦は八回日没引き分けで翌日再試合
3	28	10	共済病院(佐世保)	4-1	住友潜龍炭鋳	この年より準硬式球を使用。3連覇狙う北松勢を倒して佐世保共済がV
4	29	9	住友潜龍炭鋳(北松)	14-5	十八銀行	北松勢が銀杯を奪回し住友潜龍炭鋳が初優勝
5	30	9	住友潜龍炭鋳 2	2-1	長崎機械工具	住友潜龍炭鋳が2年連続で長崎地区勢を決勝で倒し連覇
6	31	10	長崎澱粉(大村)	2-0	長崎機械工具 2	南松浦が五島に変更。2年連続で決勝進出の長崎機械工具は又も準V
7	32	11	紋珠岳炭鋳(佐世保)	3-2	長崎県庁	この年より推薦枠を設ける。紋珠岳炭鋳はチーム編成1年目の快挙。
8	33	10	西肥バス(佐世保)	2-1	端島炭鋳(西彼)	西彼勢初の決勝進出の二度目出場の端島は二度目出場の西肥バスに惜敗
9	34	10	親和土建クラブ(佐世保)	2-0	西肥バス(佐世保)	佐世保勢同士の決勝戦。長崎日日新聞社が合併し長崎新聞社主催に。
10	35	11	長崎機械工具	3-2	日鉄北松御橋	長崎地区の初優勝は仇敵・北松を九回サヨナラで倒した長崎機械工具
11	36	8	日本冷熱工業(長崎)	7-1	長崎機械工具 3	初の長崎勢同士の決勝戦を制したのは初出場の日本冷熱工業
12	37	8	日本冷熱工業 2	6-1	長崎機械工具 4	2年連続の決勝戦対決は機械工具の雪辱ならず日本冷熱が連破
13	38	8	日本冷熱工業 3	5-0	澱粉クラブ(大村)	構想新たに参加枠を8チームとした大会で日本冷熱が3連覇
14	39	8	日本冷熱工業 4	4-2	九州電工佐世保	佐世保地区からの2強(親和銀行：初)を撃破し日本冷熱がV 4
15	40	8	日本冷熱工業 5	3-1	九州電工佐世保 2	準硬式球使用のラスト大会で日本冷熱工業が5連覇達成
16	41	9	長崎県庁	1-0	親和銀行	14年ぶりに軟式球使用大会が復活し県庁が初優勝
17	42	8	三菱重工長崎	1-0	長崎県庁 2	長崎勢が同士の決勝戦で三菱重工長崎が初優勝
18	43	10	三菱重工長崎 2	7-0	親和銀行 2	三菱重工長崎VS親和銀行、初の決勝戦。
19	44	12	三菱重工長崎 3	3-0	長崎県庁 3	長崎国体出場の重工(軟式)と県庁(準硬式)が決勝戦で雌雄を決す
20	45	12	三菱重工長崎 4	6-0	福江球友会	三菱重工長崎の4連覇に挑んだ福江球友会は離島勢初の準優勝
21	46	12	三菱重工長崎 5	4-1	長崎県庁 4	三菱重工長崎と三度目の決勝戦対決も準Vの長崎県庁
22	47	12	三菱重工長崎 6	5-1	松早石油店	長崎同士の決勝戦を制して6連覇達成の三菱重工長崎
23	48	10	カワシモスポーツ(佐世保)	2-1	諫早ドッグブラザ	1 - 1 延長の21回に決勝本塁打で初優勝のカワシモスポーツ
24	49	12	長崎県庁 2	3-0	長崎無線電報局(諫早)	福江・南松から上五島が分離。この年から一死満塁制の延長戦を採用。
25	50	11	三菱重工長崎 7	3-0	諫早クラブ	諫早クラブ初の決勝戦を封じた重工は3年ぶりのV
26	51	14	親和銀行	1-0	三菱重工長崎	平戸・松浦・県北の3地区が分離。三度目の決勝戦で親和銀行初優勝。
27	52	14	三菱重工長崎 8	4-1	有明町クラブ(南高)	11回目出場の有明町クラブ初の決勝戦も三菱重工に決勝3ラン
28	53	14	奈良尾クラブ(上五島)	5-3	中興化成工業(松浦)	決勝戦初登場の奈良尾と中興化成は離島勢初優勝の奈良尾に凱歌
29	54	16	長崎日野自動車	1-0	親和銀行 3	この年に諫早・北高、大村・東彼が分離。決勝戦は順延で佐世保。
30	55	16	長崎日野自動車 2	3-1	親和銀行 4	長崎日野・中村投手が八回までパーフェクト
31	56	16	長崎日野自動車 3	2-1	親和銀行 5	長崎日野の中村が自責点0のノーヒットピッチングで3連覇
32	57	17	親和銀行 2	2-0	長崎日野自動車	島原・南高が分離。決勝戦は4年連続同一カード。
33	58	17	親和銀行 3	2-0	有明町クラブ 2	有明町クラブ6年ぶり二度目の決勝進出するも準V
34	59	17	三菱重工長崎 9	7-1	長崎無線電報局 2	10年ぶりに決勝進出した長崎無線局は三菱重工長崎に苦敗
35	60	17	親和銀行 4	1-0	三菱重工長崎 2	9年ぶり三度目の親銀 - 重工の決勝戦対決で親和銀行が勝ち越し
36	61	17	親和銀行 5	8-2	三菱重工長崎 3	親銀VS重工の2年連続決勝戦対決は親和が連破し五度目のV

長崎県軟式野球選手権大会 歴代の優勝(準優勝)チームと決勝戦スコア ②

回	年	参加数	優勝チーム [回数]	決勝戦	準優勝チーム[回数]	大会のトピックス
37	62	17	親和銀行 6	4-0	三菱重工長崎 4	ベスト4に離島2チーム(上五島&対馬)も親和と重工の壁は厚し
38	63	17	長崎県経済連	1-0	親和銀行 6	二回目出場の県経済連が延長12回サヨナラで親銀の4連覇を阻む
39	元	17	親和銀行 7	1-0	長崎県経済連	前年決勝戦の再現は八回の決勝点で親和銀行が雪辱
40	2	17	親和銀行 8	1-0	大村市役所	初の決勝戦で親銀に立ち向かった大村市役所は0-1敗戦
41	3	16	親和銀行 9	3-0	中興化成工業 2	13年ぶりに決勝戦登場の中興化成工業だったが親銀の前に又も準V
42	4	17	親和銀行 10	1-0	JA長崎経済連 2	21回目出場の親和銀行は延長10回の決勝点でV10達成し4連覇
43	5	17	親和銀行 11	3-1	生月体協(県北)	33大会ぶりに北松地区から決勝進出した生月体協も親銀の前に準V
44	6	17	親和銀行 12	9-1	JA長崎経済連 3	大橋球場最後の大会で親和銀行の6連覇達成は三菱重工の記録に並ぶ
45	7	16	ソニー長崎(諫早)	3-1	三菱重工長崎 5	未踏の7連覇を目指す国体準優勝の親銀を封じてソニー長崎が初優勝
46	8	17	三菱重工長崎 10	1-0	ソニー長崎(諫早)	第3回大会から23回目の出場で12年ぶり10回目優勝の三菱重工長崎
47	9	17	親和銀行 13	1-0	ソニー長崎 2	ビッグN初の決勝戦で九回裏サヨナラ優勝の親銀は3年ぶり
48	10	17	親和銀行 14	5-0	ソニー長崎 3	かきどまり野球場完成年の決勝戦も親和銀行とソニー長崎
49	11	17	三菱重工長崎 11	1-0	親和銀行 7	三菱重工と親和銀行の12年ぶり六度目の決勝対決は重工に凱歌
50	12	17	三菱重工長崎 12	3-2	親和銀行 8	50年の歴史の中で12度目のVをサヨナラ勝利の2連覇で飾った重工
51	13	17	親和銀行 15	2-0	三菱重工長崎 6	親和銀行が三菱重工の3連覇を阻止したのは雨天順延した諫早球場
52	14	17	三菱重工長崎 13	1-0	親和銀行 9	重工-親銀、4年連続9回目の決勝対決はサヨナラ勝ちの重工が4勝目
53	15	17	親和銀行 16	5-4	三菱重工長崎 7	六度目出場の波佐見鴻ノ巣は初の決勝戦目前で重工に3-3抽選負け
54	16	17	親和銀行 17	8-0	三菱重工長崎 8	6年連続11回目の決勝対決は親銀が2連勝の7勝目で重工に大勝
55	17	16	三菱重工長崎 14	7-0	TEAM橋口(大村)	北高支部が消滅。2連覇中の親銀を初戦で封じたTEAM橋口が初の準V
56	18	16	親和銀行 18	8-2	三菱重工長崎 9	西彼杵が西海、南高来が県南と支部名変更。島原と県北にチーム変動。
57	19	16	三菱重工長崎 15	4-0	TEAM橋口 2	TEAM橋口が二回戦で親銀を封じて二度目の決勝進出するも又も重工に
58	20	19	アイケン医院(佐世保)	3-0	舩田グループ(上五島)	19チームの頂点は特別推薦出場のアイケン医院が舩田グループを下す
59	21	16	親和銀行 19	4-3	三菱重工長崎 10	3年ぶり13回目の親銀-重工の決勝戦対決は八回逆転で親銀が9勝目
60	22	23	親和銀行 20	3-1	アイケン医院(佐世保)	23チーム参加の60回記念大会は2年連続県内公式戦無敗の親銀がV20
61	23	16	親和銀行 21	7-0	(株)南原(大村)	三度目出場の南原が3試合無失点勝利で初の決勝進出も親銀に無得点
62	24	16	親和銀行 22	3-0	三菱重工長崎 11	3年ぶり14回目の親銀-重工の決勝戦対決は親銀10勝目で4連覇中
63	25	19	親和銀行 23	7-4	三菱重工長崎 12	長崎国体競技力強化でA級4チームが推薦出場しA級がベスト4進出
64	26	19	親和銀行 24	1-0	三菱重工長崎 13	19チーム参加大会で二度目の大会6連覇を20年ぶりに達成した親銀
65	27	16	三菱重工長崎 16	7-0	舩田グループ 2	二回戦で親和銀行を倒したTEAM橋口は準決勝で舩田グループに0-3
66	28	16	親和銀行 25	5-2	三菱重工長崎 14	親和銀行が三菱重工から覇権を奪回し25回目の優勝
67	29	19	親和銀行 26	2-0	JF長崎漁連野球部(諫早)	A級4チーム推薦出場大会で初の決勝進出した新規A級の県漁連野球部
68	30	18	親和銀行 27	6-0	三菱重工長崎 15	2年ぶり18回目の親銀-重工の決勝戦対決は親銀が14勝目
69	元	18	親和銀行 28	2-0	三菱重工長崎 16	2年連続決勝戦で三菱重工を零封した親和銀行が近年11大会で10回の優勝
70	2	18	十八親和銀行 29	3-0	三菱重工長崎 17	新型コロナウイルス禍中の第70回記念大会は初の諫早支部主管で開催
71	3	18	十八親和銀行 30	7-1	三菱重工長崎 18	4年連続21回目の決勝戦対決。三菱重工長崎は次年度から休部
72	4	17				
73	5					

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン！」

その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ほくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。



(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

本大会使用球
MARUS BALL
マルエスボール

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワホウグループ